

新興感染症感染拡大防止に向けた地域プラットフォーム形成シンポジウム

第12回ワークショップ事後アンケート 集計結果

2025年3月

公益財団法人 全日本科学技術協会

このたびは、「新興感染症感染拡大防止に向けた地域プラットフォーム形成シンポジウム」第12回ワークショップにご参加くださりありがとうございました。

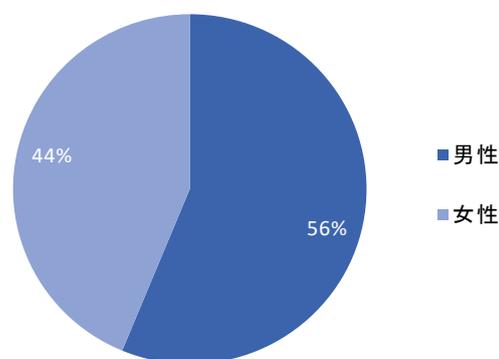
JARECは、これからも必要な感染対策など「PREPAREDNESS」について考え、広域・産学官連携してのネットワーク構築の「場」として、ワークショップを開催して参ります。

つきましては、本アンケートへのご協力をお願い致します。

事後アンケート（回答総数 48名）

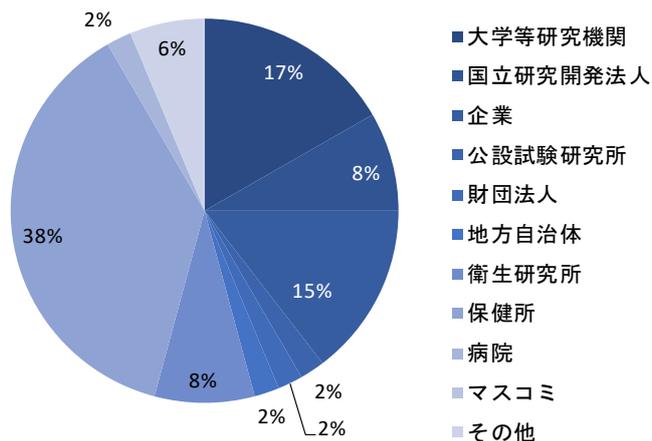
* 性別

	回答数	構成比
男性	27	56%
女性	21	44%
計	48	



* 所属区分

	回答数	構成比
大学等研究機関	8	17%
国立研究開発法人	4	8%
企業	7	15%
公設試験研究所	1	2%
財団法人	1	2%
地方自治体	1	2%
衛生研究所	4	8%
保健所	18	38%
病院	1	2%
マスコミ	0	0%
その他	3	6%
計	48	



1. 基調講演についてお伺いいたします。

「ヒト免疫応答の乱れ」と感染症の重症化と後遺症発症への関与」

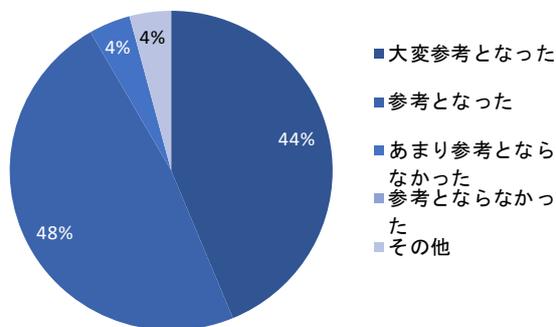
京都大学 大学院医学研究科 免疫細胞生物学 教授

京都大学 高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点 副拠点長

京都大学 免疫モニタリングセンターKIC センター長 上野 英樹 氏

1-1 京都大学の上野先生には、基本的なヒト免疫細胞の種類や特徴から、新型コロナウイルス感染によって起こる「免疫応答の乱れ」による重症化や後遺症のメカニズムについて講演頂きました。講演内容は、現在および今後のご活動において参考となりましたか。

	回答数	構成比
大変参考となった	21	44%
参考となった	23	48%
あまり参考とらなかった	2	4%
参考とらなかった	0	0%
その他	2	4%
無回答	0	—
計	48	



<その他の意見>

- ・ 免疫と後遺症の関係性（性差、年齢など）、綿密なエビデンスに基づいた大変貴重な示唆に富んだ研究内容でした。
- ・ 免疫応答の乱れは、教科書的な理解では追いついていなので、ウイルス断片の残存という言い方はとても素敵だと思います。
- ・ 国民の皆様が興味関心を持っている COVID-19 の後遺症のことを詳しく、研究データをかみ砕いて簡単な言葉で説明してくださったため、知識の浅い私でも少し理解することができました。
- ・ 新型コロナウイルスの破片が残っており、風邪コロナに罹患したときの影響が未だ分かっていないということ。
- ・ 男女（染色体）の差によって、後遺症の残る原因が免疫細胞ありなしで大きく変わることに衝撃がありました。貴重な講演をありがとうございました。
- ・ 女性の方が精神的症状やブレインフォグなどが起こりやすいが、男性と比べて治りやすいことが分かった。
- ・ 新型コロナウイルスによる感染後後遺症に関する相談を受ける際の知識として有用
- ・ COVID-19 に関連する免疫応答、後遺症とワクチン
- ・ 新型コロナ罹患者の免疫状態について年齢差男女差が大きいことを知ることができた。またウイルスの体内での残存という新たな事実を知ることができた。
- ・ 新型コロナウイルス感染症において、年齢、性差で免疫応答に差が分かりました。
- ・ ウイルスの断片の存在が予後の後遺症としての原因になっていることが理解できました。
- ・ 後遺症のメカニズムについて、噛み砕いて説明いただき、特にウイルスが残るという話は初めて聞いたため、参考になりました。
- ・ COVID-19 の後遺症の出方が Th サブセットにより、また年齢により異なることはとても興味深いと思いました。後遺症が起こる仕組みがわかりやすかった。
- ・ 後遺症に関する最新知見、今後の展開に注目します。

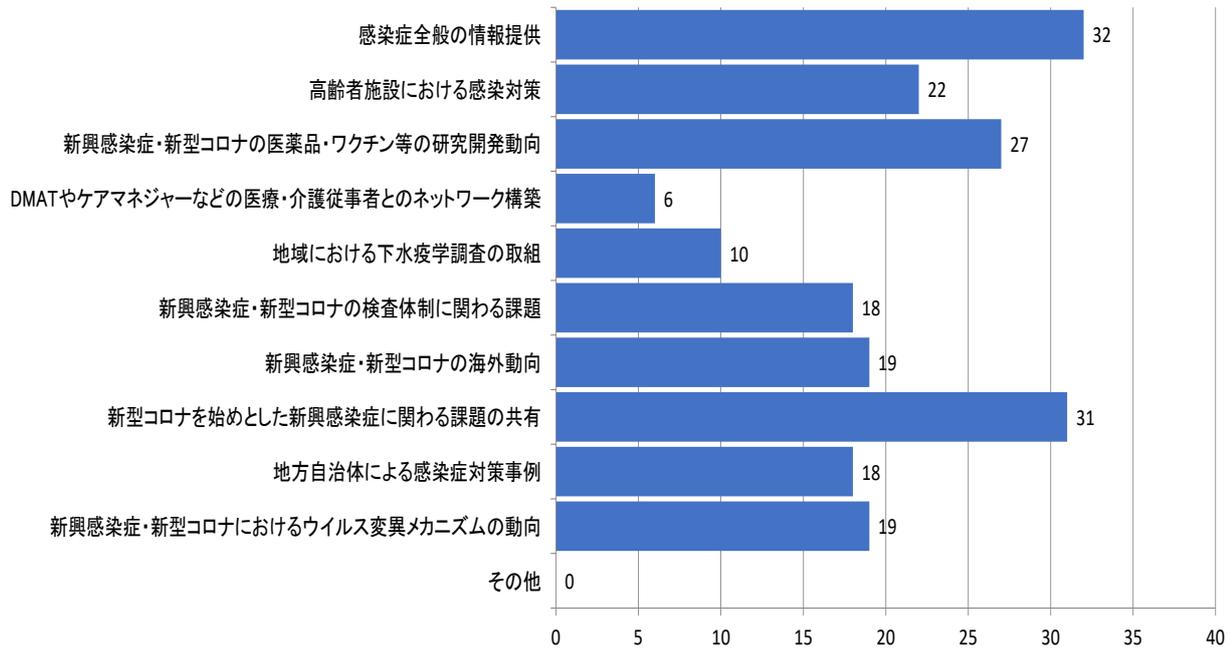
- ・ 後遺症やワクチンの副反応が出やすい人の予測、免疫の力の指標をつくること。
- ・ 後遺症の発症分類や発生機序。
- ・ 免疫細胞の種類やその働き、男性と女性との高齢化による相違
- ・ ワクチン開発においてT細胞に注目しているの。
- ・ 分かり辛い免疫の話からの解説があったこと。
- ・ 新型コロナ後遺症の原因について、考察されている内容がとても興味深いものでした。
- ・ 係員（保健師）と同席して受講させてもらったが、保健師には難しすぎたようです。
- ・ 前半少し内容が難しかった
- ・ 後遺症の4つの原因、ヒト感冒コロナ

1-2 その他、講演に対するご意見・ご質問・ご感想がありましたらお聞かせください。

（自由記述）

- ・ 日本では COVID-19 のワクチンを開発できなかったことが残念。何を反省し、どのような対策を講じるべきなのか。
- ・ 新型コロナウイルスの変異株毎の後遺症の特徴をもう少し詳しく説明していただくと良かった。
- ・ 自分は事前質問で「新型コロナワクチン接種による「ヒト免疫応答の乱れ」についての調査研究の現状を教えてください。免疫系に作用する仕組みの仮説推論と乱れの実態についての統計調査の内容についてなどです。」とお願いしていましたが、チャットでどなたかが同じことを質問されていました。関心が高いのではないかと思います。上野先生は実務的な研究内容ではワクチンの影響について直接は関わっていないとのことでしたし、国内で調査されているかの情報もご存じないようでした。もしかすると国内で新型コロナワクチンの影響についての調査研究はなされていないのではないかと思います。しかしもし行われていないとすると、科学の方法論として考えると、大きな課題が残るように思いました。
- ・ 新型コロナの後遺症について、ウイルスが直接の原因となっていない、ヘルペスウイルスなどの潜伏ウイルスの再活性というのが特に興味深いものでした。今後、新たな知見が得られた場合、また、お話いただきたい。
- ・ それでも、免疫はなかなか理解が難しいこと。
- ・ 基礎的な内容からご説明いただけだったので、大変わかりやすい内容でありました。
- ・ タイトル以上の内容になっているので、聴いてみると素晴らしい内容が続いています。
- ・ 平易に参加者のレベルも広く考えての講演だったと思います。
- ・ 資料があればわかりやすいかもしれません。もう少し詳細を知りたいので、講演資料が公開されるのを期待します。
- ・ 引き続き、ながはまコホートでの年齢や基礎疾患との関係性の解明に期待をしております。
- ・ （講演冒頭の導入にて）ゴレンジャーとサイボーグ 009 を取り上げていただき、苦手な免疫のハードルが下がりました。
- ・ 今後とも、より内容の充実した興味深い講演であります事を祈念します。
- ・ とてもわかりやすく、有意義な時間でした。本当にありがとうございました。
- ・ 車に例えるなど、大変わかりやすい講演で最初から最後までとても参考になりました。

2. 今後のシンポジウムで講演を希望するテーマについて、当てはまるものにすべてチェックして下さい（複数回答可）。



3. JAREC は、今後もシンポジウムの開催を予定しております。今後の開催に際して、希望する講演や事例紹介などのご要望等がございましたら、ご意見をお寄せ下さい。

（自由記述・全角 200 文字以内）

- ・ 新型コロナワクチン接種による「ヒト免疫応答の乱れ」についての調査研究の現状を教えてください。免疫系に作用する仕組みの仮説推論と乱れの実態についての統計調査の内容についてなどです。
- ・ 種を植え、水をやり育てることが疎かになっている科学技術を巡る日本の現状。国及び地方の科学技術政策の重要性を勉強する機会が増えることを希望します。
- ・ コロナとインフルなど重複感染について、後遺症についてなど、臨床・検査含め詳しい先生のご講演
- ・ 省庁間連携など STI 政策との関係性に関する講演なども期待いたしたく存じます。
- ・ コンゴ共和国で流行しているインフルエンザ菌に類似している感染症について。ワクチンについて。獲得免疫について（基礎）
- ・ いつも情報提供ありがとうございます
- ・ 新型コロナ等の感染症の現状と対策
- ・ 感染症情報動向調査にかかる疫学的な考え方と異常事象検知ポイント
- ・ Webinar をオンタイムで視聴できない方も少なくないと思います。HP にアーカイブをつくっていただけるとありがたいです。
- ・ 自分の理解力の範囲で参加します。
- ・ 次回の開催には万全を期したいと思います。

以 上